

令和元年度 第3回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和2年1月25日（金）

2 場所 布施高校 文化会館2F

3 出席者

（委員）

八尾市立八尾中学校（夜間）教頭

辻 巧 様

（株）ベレーザコーポレーション

入江 孝史 様

星陵同窓会副会長

八木 佳奈枝 様

四天王寺大学参事

好川 佳司 様

保護者会会長

西田 麗華 様

（本校より）

准校長、教頭、事務部長、主査、首席・生徒指導主事、教務主任、進路指導主事、1年年主任

4 内容

（1）准校長挨拶

（2）議題

ア 第2回授業アンケート（12月）結果について

イ 校教育自己診断（生徒用：10月、保護者用：11月）結果について

（3）報告等

各分掌の取り組みについて（進路指導部・生徒指導部・教務部）

（4）協議：今年度の取組みを評価

- ・ 平成31年度 学校経営計画及び学校評価（案）
- ・ 令和2年度 学校経営計画（案）

（5）まとめ

5 説明・協議

（1）第2回授業アンケート（12月）結果について

- ・ 第1回と比較して、全体的に数値は上昇している。
- ・ 質問8「興味関心」や、質問9「学習習得」は今後さらに高めていかなければならない。
- ・ 国語科に関しては7月の数値よりも上向いているが、他教科に比べるとまだ劣る。
- ・ 数学や英語に関しては回答1の割合が非常に低い。

（2）学校教育自己診断（生徒用：10月、保護者用：11月）について

- ・ 保護者用の回収が37枚（昨年度は13枚）。回収率を高めるため、各家庭への郵送の他に文化祭に来た保護者に対してもアンケートを実施。

- ・ 設問1「学校へ行くのが楽しい」では学年によって差が見られた。
- ・ 4年次生では、ほぼすべての設問に対して高い数値がみられる。4年間の取組みの成果
- ・ 設問3「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある」の肯定率が63.3%
更なる深い学びを実現するための取組みが必要である。

○ 質問やご意見

- ・ 「総合的な探究の時間」は高校ではどのようにやっているのか
- ・ 保護者用の学校教育自己診断アンケートの回収について、文化祭来場の保護者に実施したということだが、そういう積極的な保護者の回答は肯定的になりやすいのではないか

(3) 各分掌の取組み

① 教務部

- ・ 「総合的な探究の時間」に「教育と探究者」のプログラム「クエストエデュケーション」を導入し全学年で取り組む。来年度は新たに総探PTを立ち上げ、組織的に取り組む予定。
- ・ 定期考査マニュアルの作成
- ・ 新教育課程表の作成
- ・ 基礎学力検査（学力診断テストの見直し）
新たに本校独自のテストを作成し、新入生の学力を測り0限授業への参加を促す。

② 生徒指導部

- ・ 喫煙以外の懲戒に関しては、ほぼ同じ生徒である。
- ・ 行事の出席率は上昇している。体育祭に関しては、「在籍はしているが留年希望」など、実質学校に来ない生徒の数が含まれているため、それを除くと80%にも届く。
- ・ スマホ等の指導を全教員が安定して行えるよう、来年度の取組みを進めていきたい。
- ・ 進級率がなかなか上昇しない。原因は休憩時間の校外への外出が一番の原因だと思われる。上履きで郊外に出ることを禁止することで一定の効果は見られたが、懲戒指導も視野に取組みを検討したい。
- ・ 次年度はスマートフォン指導、挨拶運動、LHRの参加率の向上について取り組む予定

③ 進路指導部

- ・ インターンシップは3名参加。
- ・ ジョブチャレンジプログラムは6名参加。
- ・ 夏休み明けには全教員で履歴書指導に取り組んだ。
- ・ 企業に協力してもらい、「職業を知る」や「働くとは～未来に何があるか」、「社長講和」となどの取組みを行った。
- ・ 進路HRの実施や進路だよりの発行も行っている。
- ・ 各種奨学金の案内や説明会なども進路部のほうで行っている。

○ 各分掌への質問やご意見

- ・ 1人新規の進学決定者が出たのは大学か？
→ 専門学校。
- ・ 例年の決定率と比べるとどうなのか？
→ 過去3年間では30～50%ほどの決定率。今年度は例年よりも多く、90%を超えられた。
- ・ 日本語指導は日本語の免許を持っていないとだめということか？少しわかりにくかった。
→ 抽出を行っている教科の科目の免許を持つ教員ということ。英語の抽出で国語の教員が教えていることが問題。英語の免許を所持する教員であれば単位認定ができる。来年度以降は教育課程の変更することで対応したい。
- ・ 抽出を選択にして、卒業に必要な単位は修得できるのか？
→ 必修修はもちろん修得してもらう予定。当該生徒に合わせて、ベストな選択をさせたい。
- ・ 0限授業は基礎学力をつけるためだけか？日本語の指導はあるのか？
→ もちろん開講している。
- ・ 生徒会の活動状況について教えてほしい
→ 見える形としては挨拶運動、体育祭や文化祭での近隣住民への挨拶周りなどがある。

(4) 協議：今年度の取り組みを評価する（各種アンケート結果より取組みを検証）

① H31 学校経営計画及び学校評価

- ・ 「確かな学力の育成」については、授業アンケートにもあるように達成できている。
- ・ 「豊かな人間性と規範意識を身に付けた生徒の育成」も、おおむね達成できる予定。
- ・ 「生徒支援と安全安心な学校づくり」については、未確定の部分が多いが、目標は達成できる予定。しかし、それ以上に数値を高めようと思うとどうすればよいかが見えない状況。
- ・ 部活動や生徒会活動の活性化に関しては、少ない教員数や放課後の業務の煩雑さなどの問題があるが、何とか取り組んでいきたい。
- ・ 教職員向け学校教育自己診断結果を踏まえ、来年度は全教職員が一致団結した協力体制の構築に取り組みたい。

② R2 学校経営計画

- 「めざす学校像」について再考し、キャリア教育の視点から学校づくりを行う。
- 「確かな学力の育成」としての取組み
 - ア 社会で必要な基礎的な知識・技能の定着
 - ・ 基礎学力診断テスト 0限目 放課後補講 → 基礎学力の向上
 - ・ 授業改善PTを中心とした取組み → 授業力の向上
 - イ 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ 総探PTの立ち上げ → 「総合的な探究の時間」の充実
 - ウ 主体的に学ぶ姿勢の育成
 - ・ スマホ指導やキャンペーンの実施などにより授業規律の向上 → 学習環境の確保
- 「豊かな人間性と「社会の一員」としての自覚の醸成」としての取組み
 - ア 自己及び他者への理解と自己有用感の育成

- ・ LHR や総探、学校行事での工夫
- ・ 部活動や生徒会活動の活性化
- ・ 「あいさつ運動」の励行

イ 規範意識の醸成と自己管理能力の育成

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 政治的教養や判断力の育成

ウ キャリアプランニング能力の育成

- ・ 学年進行を考慮した計画的な取組み → 進路決定率の向上
- ・ インターンシップやジョブチャレなど → 職業観・勤労観の形成

○ 「生徒支援と安全安心な学校づくり」としての取組み

ア 生徒の個に応じた支援

- ・ 健康安全教育の推進
- ・ 問題事象への協力体制の構築
- ・ 4 年間で計画的な人権教育 → 分掌等運営シート
- ・ 教育相談体制の充実 → スクリーニングシートの活用
- ・ 家庭・地域との連携

○ 「学校運営体制の改善と人材育成」としての取組み

ア 学校運営への参画意識の醸成

- ・ 学年主任の運営委員会への参加 → 学校運営の着実な定着
- ・ 分掌等運営シートの導入 → 各学年・分掌・委員会の業務の計画的な運営
- ・ 将来構想検討チーム → ミドルリーダーの育成と若手教員の参画意識の醸成

イ 学び続ける教員集団の形成

- ・ 若手教師塾の充実 → 経験の少ない教員の育成
- ・ 研修の計画的実施 → ニーズに合った研修の実施

ウ 働き方改革

- ・ 勤務時間の変更 → 時間外勤務の軽減

○ 質問やご意見

- ・ 1 年生は 4 月で 30 名在籍だったが、今はどの程度在籍しているのか。
→ 在籍は 26 名。進級予定者は 21 名
- ・ 不登校で教室には入れないが図書室や保健室なら行けるといふ生徒はいるのか。また、そういった生徒がいた場合、後日振り替えて授業を行ったり、何かしら代替することは学校として行えるのか。
→ 現状ではない。代替の取り組みもできない。その代わりに、少しでも登校できるような取り組みを細やかに行っている。
- ・ 働き方改革が求められている状況の中で、様々な取組みを減らしていくのか、あえて増やしていくのかの判断は非常に難しいが、現状をよく分析して行うことが重要。

(5) まとめ

- ・ 運営協議会委員の皆様への今年度のお礼と次年度へのお願い。

来年度の予定

第一回：6月5日（金）

第二回：10月23日（金）

第三回：1月22日（金）

いずれも 18:00～19:30 を予定。